

平成26年度忠霊塔・忠魂碑等の実態調査表

報告年月日 平成 26 年 1 月 20 日

① 名 称	香北町忠魂社
② 建立場所	香北町美良布西土居2620
③ 敷地面積	
④ 建立年月日	
⑤ 敷地所有者	香美市
⑥ 建立主体	
⑦ 建立の経緯等	<p>建立以前は、香北町忠魂碑の横に社が合ったそう。当時国道195号の出来る前、赤線道を車道として拡張するに辺り、移転を余儀なくされた、そのため現在の大川神美良布神社前の土俵場南側(市の土地内(旧香北町))に建立されたと聞いている。</p> <p>(以下資料抜粋) 敗戦の混乱もやっと落ち着いた昭和23年、県遺族会創立に呼応して、暁霞村、美良布村、在所村と北村虎伊氏の指導により遺族会を結成。恩給法の復活によって忠霊塔建立の声も上がり、村民の寄付や労力奉仕によって3ヵ村に立派に建立され町の援助を受けて郷友会、婦人会、青年団の協力により慰霊祭が行われてきた。その後、戦時中に建立した各村の忠魂社が古くなり、遺族老齢化に伴い便利の良い場所を求め、協議を重ね、町議会議員、郷友会の役員、一般有志、町民あげて賛同を得て、町外有志、町一般有志、郷友会、遺族会により多額の寄付が集まり、靖國神社縮図鉄骨木造仕上銅板葺平家建の忠魂社が建立された。</p>
⑧ 建設総費用 (財源等)	総事業費640万円余
⑨ 忠霊塔等の所有者	
⑩ 現在の管理者	鍵は香美市役所香北支所が管理

⑪維持管理の方法	香北町遺族会美良布地区の有志が年2～3回清掃。慰霊祭は年1回(11月11日)香北町遺族会が行っている。
⑫慰霊祭の実施状況	年1回、11月11日、神職による慰霊祭
⑬霊名碑等の有無	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">有</div> <div style="margin-left: 200px;">無</div> </div>
⑭戦没者の合祀者数	
⑮ 備 考 (参考となること があれば記入願 います)	市の土地に神社が建立されており、今後問題ありと思う。 建立時、市(町)が選定した場所であり、建立以来、社の鍵は市が管理している形を取っている。香北町遺族会は、社の鍵は預からないとしている。故に、清掃、祭礼の時は香北町支所へ鍵を借りに行っている。